

# 第1学年英語科学習指導案

日 時： 平成20年 9月12日（金） 1校時

学 級： 盛岡市立下橋中学校1年2組

（男14名 女15名 計29名）

授業者： 三 浦 猛 雄

## 1. 単元名と本時のタイトル

Unit 6 グリーン家の人々

Does she like Kabuki? ～リサは日本通?～

## 2. 単元について

本単元ではカナダに住むグリーン先生の姉のリサが話題の中心になる。彼女が日本に詳しいこと、カナダと日本との間には人や文化の往来があること、カナダにはチャイナタウンのような地域があることなどが内容に盛り込まれており、初歩的な国際理解にもつながる。

本単元のPart 1では、グリーン先生が家族の写真を見せながら、姉のリサを紹介する。ここでは、人についての簡単な紹介の仕方が扱われている。Part 2では、カナダにも日本語を学び、文字を読み書きできる人がいることを知ることができる。絵美とグリーン先生の会話を通して、人についてたずねたり、それについての答え方がわかるようになっている。Part 3では、浩司が友人ビンと、二人の共通語である英語を通じて親しくなっている。母語の異なる人々でも、コミュニケーションを可能にする「英語」という言語について考える内容になっている。

言語材料としては、本単元は三人称単数現在形の導入段階である。生徒にとっては理解しづらい文法事項なので、英語表現が難しくならないよう、「人の紹介、人についての対話」を題材にしている。

## 3. 生徒について

1年2組の生徒たちは、全体的に学校での学習活動に意欲的で、発言もよくする。英語に関しても対話やインタビューゲーム等の言語活動を活発に行うなど、積極的な学習姿勢が見られる。

しかし、一部の生徒はリスニングや簡単な英語問答はできるが、「書く」ことについて定着していないことが諸テストの結果からも明らかである。現在、授業においてはなるべく教科書を読ませる回数を多くしたり、書く作業を必ず取り入れるように工夫している。

本単元では人の紹介や、それについての質問および答え方を英語で表現する活動にも取り組ませる。その際はパターン・プラクティスを十分に行った上で、的確なアドバイスを与えながらサポートをし、全員がいつでも指名されたら発表できるようにしたい。

## 4. 指導の構想

新学習指導要領では、「書くこと」の指導事項の中に、新しく「語と語のつながり」や「文と文のつながり」などに注意して文章を書くことが示されている。

このことから本校では「英語を用いて考え、伝え合う生徒の育成」－効果的な「読み」「書き」指導を通して－という研究主題を設定した。英語科におけるコミュニケーション能力を「英語を用

いて考え、伝え合うこと」と定義し、その力を高めるために、まとまった英語の文章を「読み」、  
「書く」指導が効果的であると考えからである。

本単元では人について紹介したり、たずねたり、それに答えたりすることなどが内容として扱われている。その際、三人称単数現在形を用いることになるが、この言語材料は一般的に、1年生の生徒にとっては理解が難しいものである。そのことは、これを習う1年生の2学期から英語嫌いが増えているということも多く調査が示している通りである。

英文法の基本は身につけておく必要はあるが、本単元でのみ三人称単数現在形を完全に理解し、使えるようにと生徒を追い込むと、英語嫌いを生み出しかねない。文型練習や会話を多く取り入れ、「三・単・現」に慣れさせ、間違えたときにその理由がわかる程度におさえ、これからの英語学習の中で定着をしっかりとさせるようにしたいと考える。

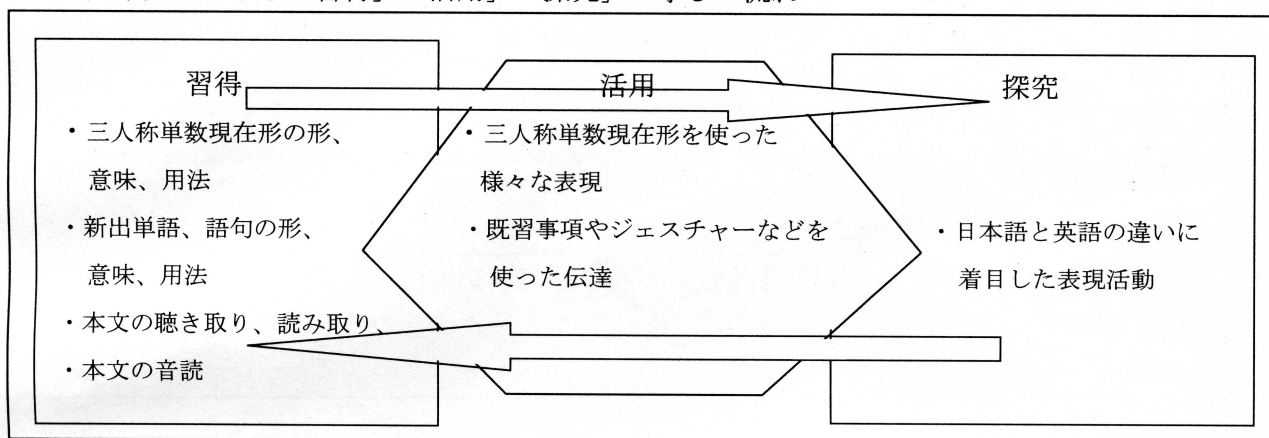
## 5. 指導計画・評価計画

### (1) 単元全体の評価規準

単元の目標	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
Unit 6	<b>聞くこと</b>			
グリーン家の人々 ○海外でも日本語を学ぶ人々がいることを知る ○母語の異なる人々でも、コミュニケーションを可能にする「英語」という言語について考える。	・教師やCDの英語を聞いて、うなずいたり、返答しようとして、題材内容に関心を持っている。 ・理解できないところがあっても、推測したり、聞き返したりして聞き続けている。		・内容を正しく聞き取ることができる。	・カナダでも日本語を学習したり、日本の文化に興味を持っている人々がいることを理解している。 ・三人称単数現在形を含む文の用法を知っている。
○三人称単数現在形の形、意味、用法を理解し、表現できる。	・積極的に英語で話している。	・話そうとすることを聞き手に正確に伝えられる。 ・自然な速さや適切な声の大きさで話すことができる。		・三人称単数現在形を含む文の用法を知っている。
	<b>読むこと</b>			
	・場面に合った表現を工夫しながら音読しようとしている。	・正確な発音やイントネーションで本文を音読することができる。	・本文の内容を正確に読み取ることができる。	・英語が異なる母語を持つもの同士の共通言語になることを理解している。

		・場面に合った表現を工夫しながら音読することができる。		・英語の個々の音やイントネーション、場面に応じた強調の仕方などを正しく発音する知識がある。
<b>書くこと</b>				
	・伝えたいことを、英語で意欲的に書こうとしている。	・伝えたい内容を正確な表現を使って書き表すことができる。		・三人称単数現在形の用法を知っている。

(2) 単元における「習得」「活用」「探究」の学びの流れ



(3) 単元の指導計画

時間	パート	主な学習内容	学習目標	評価規準
第1時	Part 1	1 三人称単数現在形の肯定文の形、意味、用法について学ぶ。	○三人称単数現在形の肯定文の形、意味、用法を理解し、表現できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三人称単数現在形を用いて英文を作ることができる。(表現、言語知識)</li> <li>・人について簡単な紹介の仕方がわかる。(理解)</li> </ul>
		2 人について簡単な紹介の仕方を知る。		
第2時 (本時)	Part 2	3 カナダにも日本語を学び、文字を読み書きできる人がいることを知る。	○三人称単数現在形の疑問文とその応答の形、意味、用法を理解し、表現できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三人称単数現在形の疑問文とその応答の英文を作ることができる。(表現、言語知識)</li> <li>・人についての質問や、その答え方がわかる。(理解)</li> </ul>
		4 三人称単数現在形の疑問文とその応答の形、意味、用法について学ぶ。		
第3時	Part 3	5 三人称単数現在形の否定文の形、意味、用法	○三人称単数現在形の否定文の形、意味、用法を理解	・三人称単数現在形の否定文の英文を作ることができ

時	について学ぶ。 6 母語の異なる人々でも、コミュニケーションを可能にする「英語」という言語について考える。	し、表現できる。	る。(表現、言語知識) ・人についての述べ方がわかる。(理解)
---	--	----------	------------------------------------

6 本時について

(1) 主題 カナダ人のリサが日本のどんなことを学んでいるのか、英語での質問のしかたをおぼえよう。

(2) 目標、パフォーマンス課題、ルーブリック

指導目標	①カナダにも日本語を学び、文字を読み書きできる人がいることがわかる。(理解) ②三人称単数現在形の疑問文とその応答の形、意味、用法を理解し、表現できる。(言語知識、表現)
評価目標	評価方法
カナダにも日本語を学び、文字を読み書きできる人がいることがわかる。(理解)	CDを聴かせ、T or F やワークシートに取り組む。
三人称単数現在形の疑問文とその応答の形、意味、用法がわかり、表現できる。(言語知識、表現)	三人称単数現在形の疑問文とその応答を用いたペアワークやグループワークに取り組む。

学習活動	評価項目	評価する活動・資料	ルーブリック			
			A	B	C	D
カナダにも日本語を学び、文字を読み書きできる人がいることを聞き取り、読み取ることができる。	理解	観察 ワークシート	ワークシートに記入した答えが全て正確だった。	ワークシートに記入した答えの間違いが少しあった。	ワークシートに記入した答えが半分位は正解だった。	ワークシートに記入した答えがほとんど間違いだった。
三人称単数現在形の疑問文とその応答の形、意味、用法について理解し、表現することができる。	言語知識、表現	観察 ワークシート	三人称単数現在形の疑問文とその応答について、正確に表現することができた。	三人称単数現在形の疑問文とその応答について、ほぼ正確に表現することができた。	三人称単数現在形の疑問文とその応答について、すこしは表現することができた。	三人称単数現在形の疑問文とその応答について、表現することができなかった。

(3) 本時の構想

Unit 6では、ここまでグリーン先生の姉のリサとその夫の浩司の紹介を通して三人称単数現在形の肯定文とその形、意味、用法について学んできた。

本時ではさらに絵美とグリーン先生の会話を通して、三人称単数現在形の疑問文とその応答の形、意味、用法を文法指導の中心に取り上げる。指導にあたっては、あまりに機械的な学習をさせることは避け、有意味な言葉になるような練習をさせたい。また、この練習にあたっては基本的な単語を用い、英語が苦手になりつつある生徒に対しても理解しやすいような指導を心がけたい。そのためには作業がはかどらずに悩んでいる生徒に対しては的確な指示、援助をしたり、全ての生徒が取り組み、達成感を味わえるようなわかりやすい学習シートを作成し、意欲的に学習できるようにしたい。

本文の内容の読み取りに際しては、英語に対する抵抗感を持たせないようにするため、一文ずつ全て訳すという作業は避け、概要をとらえるようにさせたい。

また、本時においては十分な文型練習を通して表現方法を「習得」してから、自分の考えをいろいろな英文の表現に挑戦（「活用」）させたいと考えている。「探究」は今後の表現活動で行うこととし、本時ではあえて要求はしない。そして、文型練習に際しては個に応じたアドバイスを与え、作業の後には適切な「評価」をし、次の指導に結び付けたい。「読み」に関してはできるだけ多くの文や語句を口頭練習させ、しっかりと読み方がわかった上で、「書く」ようにさせたいと考える。



(4) 展開

段階	学習内容	学習活動	時間	◎留意点 ★資料 ☆評価
導 入	○ Warm up	1 Q-A TALK をペアで行う	5	◎留意点 ★資料 ☆評価 ★Q-A 100 ☆英語で問答できたか〔観察〕 ★ワークシート ☆三単現の肯定文を正しく言えたか〔観察〕 ◎ゆっくり、はっきり対話する ☆どんな内容について話していたかがわかったか ☆三単現の問答の仕方がわかったか
	○前時の復習	2 三人称単数現在形の肯定文の用法を復習する		
	○基本文の導入	3 教師と生徒のやりとりを聞いて、何を言っているのか推測する	5	
	○課題把握	4 三単現の疑問文とその答え方どのように表現されるのかを把握する		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         いろいろな人のことについて、友達に英語できいてみよう！                     </div>				
展 開	○課題解決のための練習	5 三単現の使い方を知り、口頭練習をする	5	◎発音、イントネーションに留意させる ★ワークシート ◎タイムプレッシャーを与え、時間を意識させる ◎机間指導し、つまづいている生徒の援助をする ☆自分の聞きたいことをワークシートに記入できたか。 ☆自分の考えた質問を友達にすることができ、また、質問に答えることができたか ☆声の大きさや速さなどに気をつけて発表することができたか
		6 コミュニケーション活動を行う ①自分の聞きたいことをワークシートにメモする ②メモに書かれたことを、いろいろな人に聞く。自分が聞かれたら答える ③発表する	15	
	○本文の導入・内容理解	7 本文の内容を理解する ①教科書の本文を聞き、どのような内容かを考える ②新出語句の確認 ③本文の音読 ④本文の視写	10	
終 結	○本時のまとめ	8 本時の内容をワークシートにまとめる	7	☆ワークシートに本時の要点を記入することができたか ☆ループリックを確認しながら自分の学習活動の評価をする ◎ワークシートを回収する
	○評価	9 本時の自己評価をする		
	○次時の予告			